



2020年 クラブ主題 **何事も、楽しんでいきましょう**

2020年 9月号

- 国際会長主題 **価値観、エクステンション、リーダーシップ**
- アジア会長主題 **変化をもたらそう**
- 東日本区理事主題 **変化を楽しもう！**
- 富士山部長主題 **ワイズだから出来る事が有る！
絆にやろうぜ！富士山部！**
- 富士会長主題 **何事も、楽しんでいきましょう**

- 第33期クラブ役員**
- | | | | |
|----|------|------|------|
| 会長 | 高野 亨 | 監事 | 井上暉英 |
| A副 | 小澤嘉道 | 監事 | 鈴木靖巳 |
| 書記 | 吉澤廣美 | 監事 | 増田 隆 |
| 会計 | 仲澤昭夫 | 担当主事 | 金井淳 |

☆ **2020年9月例会** ☆

と き 2020年9月9日(水) 18:30~21:00
 ところ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)
 受付 金井 淳君、市川文彦君
 司会 仲澤昭夫君

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 開会点鐘 | 高野亨会長 |
| 1. 開会の挨拶 | 小澤嘉道君 |
| 1. ワイズソング・ワイズの信条・ | 司会者 |
| 1. 東日本区理事・富士山部部长・会長主題の唱和 | |
| 1. 会長挨拶 | 高野亨会長 |
| 1. ゲスト・ビジター紹介 | 高野亨会長 |
| 1. 食前の感謝 | 鈴木靖巳君 |
| 1. マイタイムアワー | |
| 1. 誕生日 | 司会者 |
| 1. 委員会報告 | |
| 1. 監事・書記・会計・事務局報告 | |
| 1. 出席率・スマイル報告 | |
| 1. 閉会の挨拶 | 岩辺富雄君 |
| 1. 閉会点鐘 | 高野亨会長 |

HAPPY BIRTHDAY

該当者なし

9月協調月間

ユース(STEP・YEOP・YA)

8月例会

在籍会員	15名	例会出席者	9名	スマイル基金	9,000円	CS基金	1,163円
功労会員	1名	出席率	64%	スマイル累計	9,000円	CS累計	1,163円
担当主事	1名	ゲスト	0名	ビジター	4名	総出席者	13名

巻頭言

小澤嘉道

思い起こせば丁度一年前のこと、無計画にも富士山弾丸登山を実行しました。今年も義弟と富士登山計画をしていましたが新型コロナウイルスのおかげで？中止となりました。うれしい様な少し残念な複雑な気持ちで夏を迎えることになりました。いつもなら、しとしと雨が降り続く入梅が空けると、ぬける様な青空と入道雲、うるさい位の蟬の鳴き声で夏到来を感じました。ところが、ここ数年、入道雲はほとんど見ることもないし蟬の鳴き声を聞くことも少なくなってしまった夏が続いています。考えてみれば蟬だって人間と同じく暑さに耐えられないのかもしれないかもしれませんね。ただただ蒸し暑い日が続く夏だけになってしまったような気がします。よく神津島へ釣りに行く知人は「海水温が高く対流しないので魚がつかない。」とこぼします。最近では、沖縄地方生息の魚が黒潮にのり北上して駿河湾でもたまに見かけるようです。気温 40 度超えもさほどビックリしない夏、地球温暖化は確実に進んでいるように思います。…外仕事は厳しいです。今年は新型コロナウイルスの影響で世界経済は低迷し、明るいニュースの少ない今日です。そんな時でも逆境をチャンスにとらえ着実に業績を伸ばす企業も多く見かけます。何事もポジティブにとらえ前向きに行けばきっと良いことはあるでしょう。皆さん、何事も楽しんでいきましょうか！

8月例会報告

8月例会は小澤ワイズの司会により、恒例の納涼例会として開催されました。また富士山部部長公式訪問の月でもあり伊藤部長をはじめ山本書記、小林会計、宮崎副会計の4名が参加されました。高野会長の挨拶があり、その中で故榎村ワイズから富士クラブに寄付された基金を東日本区に振り込みました、との報告がありました。引き続き伊藤富士山部長より挨拶をいただき9月26日の富士山部会を富士山YMCAで実施する予定とのこと。時期が時期だけに大々的には行われないようです。その後、納涼会に移り、会場も3密にならないように1テーブル3～4名に設定してコロナに神経を使いながらの納涼会でした。吉澤書記より8月の役員会は特に審議事項が無いので中止という報告がありました。



高野会長の挨拶（コロナ対策の為マスク着用）



テーブル3密を避けた配置の中での納涼会

マイタイム

60歳代は要注意

吉澤廣美

安部晋三総理が病気の再発により、良い政治判断が出来かねるといことで退陣表明をしました。65歳です。まだまだ病気が無ければ続けたいところでしょうが致し方ありません。私は68歳です。それ故に60歳代の人の動向が目につくのでしょうかが最近、私の周りでは60代でお亡くなりになる人や発病する人、手術を余儀なくされる人など多いと感じます。60代は人生の曲がり角か、自分ではなかなか気が付かないのですが、60代を乗り越えないと大変なことになってしまうようです。私も65歳の時に肺炎になり、12日間入院しました。咳も痰も全くなく、急に息がききました。その後、熱、息苦しさは出ましたがあれよあれよという間の出来事でした。いま思うと肺炎も恐ろしい病気の一つですので何事もなく治ってよかったです。65歳からは世間でいう高齢者の仲間入りですので、60代は変化の起きる時でもあり、気を付けなければなりません。50代と同じような生活態度でいると知らず知らずのうちに身体が蝕まれているのに気が付かない。要注意です。そんなこともあり私はここ数年、ウォーキングに励んでいます。以前にもウォーキングの歩数によって生活習慣病が克服できるという話を聞いていましたので、生活の歩数も入れて週に5日ぐらいは一万歩以上歩くようにしています。それにつれて免疫力も高まります。しかし、もっと手っ取り早い健康法は酒量を減らすことですが・・・・・・・・。

【使用済み切手をお願いします】

BF事業委員会

BF事業委員会では使用済み切手を集めています。集めた切手は切手商に送り、換金し、BF(Brotherhood Fund)事業に活用します。手紙やはがきに貼られている切手を周囲10ミリくらい残して切り取り、可能ならば外国切手、日本切手（普通切手より記念切手により良い）を区分してまとめておいてください。クラブの収集方法はBF事業委員会から改めて連絡します。

【会費納入のお願い】

会員の皆さま、会費の納入はお済でしょうか。年一括払いと、半期払いがあります。振込先は下記のとおりです。

振込先 清水銀行 富士支店

普通預金 2552914

富士ワイズメンズクラブ 会計 仲澤昭夫

宜しく申し上げます。

第43回 富士山部部大会のお知らせ

日時 2020年9月26日(土)
受付 10:30
部大会 11:00~14:00
会場 富士山YMCA グローバルエコビレッジ
会費 5,670円(コロナ・ゼロ)
部大会 11:00~11:40
記念植樹 11:40~12:00
宮BBQ懇親会 12:00~14:00
ホスト 富士宮クラブ

理事メッセージ

東日本区理事 板村哲也

新型コロナウイルスの感染は下火になっても完全に無くなることはなく、ウィルスとの共存の時代になるといわれています。また、新型コロナウイルスを制御できるようになれば世の中が元に戻るかというとそうではなく、今回の危機を乗り越えることでニューノーマル（新状態）な世の中ができるといわれています。これは過去の歴史を見ても納得できることと思います。区の状況ですが、Zoom によるリモート会議が定着し、各種会議は例年と同じように、むしろ例年以上に頻繁・活発に開催され、業務処理がなされています。例会やその他の行事は Zoom での開催のほか、コロナの感染防止に創意工夫をこらし、多大の注意を払って対面での実施も一部行われています。今年 9 月～10 月には東日本区 5 部の部大会が何らかの方法で開催される予定になっています。

8 月 15 日～16 日にアジア太平洋地域会議（ACM）と地域会長・役員・議員の就任式が Zoom でかいさいされ、東西日本区出身のアジア太平洋地域役員の方々と一緒に出席しました。（仮）千葉ウエストクラブの国際協会加盟が国際協会承認されました。10 月 3 日に加盟認証状伝達式が行われる予定です。

（東日本区理事通信 9 月号より抜粋）



灼熱の太陽の下、咲き誇るサルズベリの花

日本 -92年間に駆け足で振り返って-

（8月号続き）

アジア太平洋地域会長 田中博之

上げ潮

1959 年、日本で初めてのアジア地域大会が東京で開催されました。参加者数は、海外からの参加者 55 人を含め 302 名でした。この頃、クラブ数は 40 を超えていました。1966 年のハワイ・ホノルルでの第 42 回国際大会には日本から 118 人の代表が、飛行機をチャーターして参加しました。この大会では 1954 年から 1957 年に国際副会長も務めた奈良傳がハリー・M・ボランティア賞を受賞しました。アジアからの初めての受賞でした。尚、この後、鈴木謙介

（1982）、竹内敏朗（1987）、田中真（1995）、三井満寿雄（2002）、今村一之（2006）、奈良信（2010、奈良傳の子息）、藤井寛敏（2018）が受賞しています。1975 年、第 51 回国際大会が熱海市で開催されました。アメリカ大陸、ヨーロッパ大陸以外で初めて開催された初の国際大会でした。24 の国と地域から 1,115 人が参加し、参加者は、市を上げて歓迎されました。この大会で鈴木謙介がアジア地域からはじめてに国際会長に就任しました。以後、日本からは、竹内敏朗（1984-1985）、青木一芳（1994-1995）、藤井寛敏（2010-2011）が国際会長を務めました。また、彼らの他に、これまで 7 人がアジア（太平洋）地域会長を務めています。

着実な発展

1970 年代の初めの新国際憲法の制定を受け、新しい日本区定款も 1976 年に発効しました。当時の日本区のクラブ数は 58、会員数は 1,519 人でした。以後、区の組織、制度の整備が進み、会員数も増加していきました。1988 年、第 58 回国際大会が京都で開催されました。24 か国から 2,248 人が参加し、これは当時の大会史上最多の参加人数でした。21997 年、日本区は、東・西両区に分割しました。当時のクラブ数、会員数は適正な規模を超えていたからです。東日本区 57 クラブ、1,246 人、西日本区 81 クラブ、1,952 人での出発となりました。2010 年、第 69 回国際大会が日本における 3 回目の国際大会として東西日本区の協力、YMCA の支援で横浜にて開催されました。世界 28 か国・地域から 1,422 名の参加がありました。大会のメインテーマは、地球環境問題で、この大会の成果は、今も世界のワイズ運動に生かされています。

YMCA との協働・自然災害被災地支援

日本のワイズ運動の特徴のひとつは、YMCA との緊密、良好な関係です。国際憲法のガイドラインには「全てのクラブ会員は、関連地区の YMCA 会員になることが望まれる」とされていますが、東・西日本区の定款では、いずれも「クラブの会員は、YMCA の会員になるものとする」と定められています。クラブにはその所在地に YMCA が無い少数の例外を除いて、YMCA の担当主事がクラブ会員として参加しています。日本のワイズ、YMCA は、これまで、様々な面で相互に協力してきましたが、その具体的な例として自然災害被災者、被災地支援が挙げられます。近年では 1985 年の阪神淡路大震災、2011 年の東日本大震災、2016 年の熊本地震、2019 年の台風 15 号・19 号がその代表的な例です。両者は、常に協力して被災地でのワーク活動、募金活動を行い、大きな成果を成し遂げてきました。日本で 5 回目の開催となったアジア（太平洋）地域大会である 2019 年の仙台での第 28 回アジア太平洋地域大会の最大の目的は、東日本大震災でのワイズと YMCA の働きを報告、振り返ることでした。この大会も東西日本区、仙台 YMCA の協働によって成功裡に開催する事ができました。

100周年、25周年に向けて

ワイズメンズクラブ国際協会設立 100 周年の 2022 年は、東日本区、西日本区にとっては、設立 25 周年にあたります。2020 年 2 月現在で東日本区はクラブ数 61、会員数 875、西日本区はクラブ数 80、会員数 1,474 です。近年、会員数が減少傾向にあり、会員の高齢化も進んでいます。現在、東日本区では「Change!2022 運動」、西日本区では「新生ワイズ起こし運動」として、会員増強を中心とした取り組みを進めています。残念ながら今は、新型コロナウイルスの感染防止の為、ワイズ活動が全般的に制約を受けていますが、力を合わせてこれを乗り越え、これらの運動によって日本のワイズが一層元気になり、YMCA と地域社会に対してより良いサービスを提供していくことが出来る事が期待されています。

東日本区 Change!2022

第 1 回シンポジウム報告集より (抜粋)

ワイズの抱える諸問題

会員の減少、会員の高齢化、知名度の低さ→勧誘のむずかしさ。違和感のあるプログラム、楽しくない・魅力のない例会、魅力ある CS 活動不足。

Change! 2022 アクションプランの提唱

1. 地域に根ざしたワイズ独自の魅力ある CS 活動。地域イベントへの参加や他団体との協力。非会員を巻き込んだ事業の展開。YMCA との協働事業→地域での知名度向上

(コンサートの開催、歌声広場、障がい者支援事業、青少年事業など・・・)

2. Facebook などの SNS を活用してワイズの外向きの情報発信。SNS 講習会の開催→ワイズ知名度の向上

3. 各種会合のキリスト教の儀式を見直し、すべての人が入りやすいクラブ運営、違和感のないプログラム、入りたくなるワイズを!

(区大会、部大会などの各種会合のプログラムの見直し、クラブ内の事は、クラブの裁量に任せる。2020-2021 年次国際協会長候補者も全ての宗教の受け入れ体制を提言しています)

4. 5名以上の新クラブの奨励 奉仕・社交・研鑽・居場所・ステータスなどを満たせるクラブ。若い人を引き受けるプログラム。

(新入会員の会費の軽減。非会員のイベント・奉仕事業の手伝い者として参加要請・各種例会への誘い。リーダーOB/OG との例会・イベントでの繋がり。趣味の仲間のクラブ。同業者のクラブ)

Change! 2022 宣言

私たちは、ワイズメンズクラブ部国際協会の国際憲法および東日本区の定款に示されたモットーとクラブの目的に賛同し、誇りと喜びをもって、ワイズメンズクラブの会員となり、活動を行っています。そしてこの活動がこれからも継続、発展していくことを願っています。しかし、ここ数年、残念なことに、会員の高齢化、減少の傾向が強まっており、活動の停滞も見られ

ます。このような状況に歯止めをかけ、これから将来もより活発で豊かな活動を継続、発展していくためには、私たちは今、行動に移すことが必要であると認識し次のアクションを起こすことを宣言します。

- ・私たちがワイズ一人ひとりが現状に対する危機感を共有し
- ・知恵を出し合い、変えるべきことは勇気をもって変革し
- ・新しい取り組みについても謙虚に耳を傾け
- ・柔軟でしなやかな発想を持って、現状を打開するための努力を惜しまず
- ・必ずや、2022 年までに目標の会員 1246 名を達成する。

2020 年 2 月 1 日

ワイズメンズクラブ東日本区 Change!2022 推進委員会

Change2022! シンポジウム参加者一同

YMCA だより

富士山 YMCA 金井 淳

1920 年、大阪六甲山麓で日本で初めて YMCA が教育的組織キャンプを始めて、今年で 100 周年になります。コロナ禍の中、様々な感染対策を細心の注意を払って行い、今年もキャンプの灯を消すことなく、富士山 YMCA で約 50 名の子どもたちが 3 泊 4 日のキャンプを楽しみました。ニジマスのつかみ取りや乗馬など、富士山の麓の大自然ならではのプログラムを体験しました。



ニジマスのつかみ取りを楽しむ子供たち

投稿大歓迎!

富士クラブのブリテンの紙面を皆さまの投稿で埋め尽くしたいと思います。内容はワイズにこだわりません。時局もの、写真、旅行記、俳句、川柳・・・。皆さまのブリテンです。投稿お待ちしております。ブリテン委員会